

8月、ドイツ軍は空爆開始。官民一体の防空体制を確立、制空権を確保したため、ヒトラーはイギリス占領を諦めた。1941年、ヒトラーは矛先をバルカン半島に向け（バルカン制圧）、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリアを枢軸側に引き入れ、ユーゴスラヴィア、ギリシアを制圧した。この侵攻は前年にルーマニアの油田地帯を確保したソ連との対立を深めた。

Ⅲ 1941年6月 独ソ戦開始 41年春、西欧ではイギリスのみが抵抗！

- 1) アメリカは、フランスの敗北（1940年6月21日）を契機に戦時体制に入る。
1941年3月11日、【13: 】を成立させ、アメリカはイギリス支援に踏み切る。
アメリカとしても、ドイツがヨーロッパを支配し尽くす事態となれば、自らの覇権も危うくなる！
- 2) ドイツの侵攻を予想したソ連は、1941年4月13日、日ソ中立条約を締結した。東西2正面での戦争を回避したい意図は分かるが、これで日本は安心して「南進」でき、日本の東南アジア侵略に手を貸す結果となった。
1941年6月22日、独ソ不可侵条約を破棄したヒトラーは宣戦布告なしに【14: 】に侵攻、モスクワに迫ったが、持ちこたえた。ドイツ軍はモスクワ攻防戦で消耗し進撃は止まった。これ以降、ソ連は反ファシズムの立場に立つ。
最も強力だった時期のドイツ軍の侵攻を、ソ連1国の力で受け止め膨大な犠牲を出した。第二次世界大戦の犠牲者統計でソ連が約2000万人と極端に多いのは、このような事情がある。なお、独ソ戦の開始以降は、米ソ関係も改善されたが、アメリカがソ連を支援するのは9月以降。
- 3) 1941年7月21日 イギリスのはたらきかけで、ソ連・イギリスの相互援助協定成立。 08R
- 4) 1941年8月 ローゼンヴェル・チャーチルが大西洋上で会談、【15: 】発表。ソ連も賛同。
- 5) 1941年9月 米英ソ三カ国首脳会議、ソ連支援を決定。 09W
- 6) 1941年9月8日～1944年1月18日 レニングラード攻防戦（包囲戦）は有名である。（現ペテルブルク）
ドイツ軍はレニングラードを900日近くにわたって包囲したが、レニングラードは耐え抜いた（「トロイも陥ち、ローマも陥ちたが、レニングラードは陥ちなかった」。飢餓や砲撃によって、ソ連政府の発表によれば67万人、一説によれば100万人以上の市民が死亡した。これはわが国本土における民間人の戦災死者数の合計（東京大空襲、沖縄戦、広島・長崎を含む全て）を上回る。家族全員を失ったターニャ（当時12歳）の日記が絵本としてわが国でも出版されている。たった一人残ったターニャはその後施設に入ったが赤痢で死亡した。
スターリングラード攻防戦（1942年8月～43年2月 現ヴォルゴグラード）との混同に注意。レニングラード攻防戦より11カ月遅れて始まり同時進行。
ここで、真珠湾攻撃（1941年12月8日）を見る（＝日本の参戦） アジア・太平洋戦争勃発→No.187参照

Ⅳ 1942年1月 反ファシズム連合国の正式発足

- 1) 1942年1月1日に 【16: 】発表 アンネ=フランク一家が隠れ家に入ったのは1942年
世界の26カ国が大西洋憲章を了承して連合国に結集、ファシズムと戦うことを約した。
ソ連もコミンテルンを解散（1943）してこれに応えた。
- 2) 1942年、ようやく成立した連合国の協力で、世界中でナチス・ドイツに対する反攻が開始されたが、占領地の資源とマンパワーを活用して粘り強く抵抗するドイツ軍を押し返すことは容易ではなく、本格的な反攻作戦ができるまで1年近くを要した。

Ⅴ 1943年2月 連合国の大反攻開始

1943年2月 スターリングラード攻防戦、ガダルカナル島攻防戦 以降、体勢を整えた連合国軍は、猛烈な反攻作戦を実行する。 このつづきはNo.188

抵抗運動

- 1) 短期戦に失敗したドイツは、占領地から工業資源や食糧を奪い、数百万人の外国人をドイツに連行して強制労働させた。支配地域にも人種差別を強制し、ユダヤ人やスラヴ系の人々を、全占領地域から集めて強制収容所で殺害した。No.184で詳述。
- 2) 占領下で行われた抵抗運動をフランス語で「【17: 】」と呼ぶ。ロンドンに亡命したド=ゴールは自由フランス政府をつくり、短波放送を通じてレジスタンスを励ました。フランスにおけるドイツ軍とヴィシー政権に対するレジスタンスは、戦後の第四共和政の基礎となった。
ユーゴスラヴィアでは、【18: 】が、労働者・農民の非正規軍を組織して抵抗した。遊撃隊を編成しての武装抵抗を特に「【19: 】」と呼ぶ。ユーゴスラヴィアやアルバニアのパルチザン組織は、戦後に社会主義国家を樹立する母体となった。
このように、各国の抵抗運動は、戦後の政治・社会に大きな影響を及ぼした。
自分たちの手でファシストを打ち破った歴史的体験は、今も子孫に引き継がれ、現代のEU結成の精神を醸成した。日本人にはこのような歴史的経験は、「60年安保」の一時期を除けば、ほぼない。
《蛇足》『ドラえもん のび太の宇宙小戦争』(1979)では、ドラえもんとのび太たちは、強大な軍事独裁政権と戦う地下抵抗組織（地球外の惑星という設定）を支援して共に戦って勝利している。藤子不二雄先生の世界史の知識はハンパなものではない。
- 3) ドイツ・イタリアにも抵抗組織があり、根強い抵抗運動が展開された。→ 映画「非武装都市」
- 4) アウシュヴィッツ収容所の内部にまで抵抗組織は存在した。日常的に起こる大量虐殺の一部は下手人の氏名とともに具体的に通報され、イギリスからの短波放送で世界中に報道されていた。
少しずつ持ち込んだ爆薬で焼却炉爆破まで実行している。そのたびに凄惨な拷問と更なる大量処刑の報復が行われたが、抵抗組織は世代交代しながら生き続けた。
- 5) 抵抗運動の共通点 ①貧弱な武装でよく戦い多数の犠牲を出した。被逮捕者や捕虜には激しい拷問が加えられた。②普段は全く普通の市民。③無関心を装いながら協力する市民多数の支援に支えられていた。④思想・信条・信教・民族の相異を棚上げにして戦った。《重要》